

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	測量実習	
科目基礎情報							
開設学科	建築設計科		コース名			開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実習			
教科書/教材	プリント						
担当教員情報							
担当教員	尾崎洋介			実務経験の有無・職種	有・施工管理		
学習目的							
建築において、全ての基本となるのは、測量による測量図である。そこから敷地の境界が明確になり、原設計図が生まれ、又、実際の施工においても測量は欠かせない。測量実習では測量の重要性を理解し、代表的な測量方法についての知識の習得を学習の目的とする。具体的には、レベル・トランシット・平板測量それぞれ、基本説明から測量機器の取り扱い、操作方法、測量方法の理解から実施測量、実測についての知識、さらにグループ作業の管理、牽引、指導能力をつけること、及び一級、二級建築施工管理技士、並びに、一級、二級建築士の学科試験合格に準ずる知識の習得も学習目的とする。							
到達目標							
代表的な測量方法についての知識の習得のために次の4点を到達目標とする。 ① 歩測測量を理解し実測できる。 ② 水準測量を理解し実測できる。 ③ トランシット測量を理解し実測できる。 ④ 平板測量を理解し実測できる。							
教育方法等							
授業概要	各種測量方法の特性を理解した上で、実測によりその特性を検証する。実測においては、班単位で演習し、役割分担を決めて測量に臨む。毎回、測量記録をレポートにまとめ、考察を深める。						
注意点	測量実習の注意点は以下の4点とする。 ① 使用機材の取扱いには怪我等しないよう充分注意すること。使用機材は精密機械なので、取り扱いには慎重に行うこと。 ② 屋外実習となるので各自服装等は留意すること。履物は、サンダルやヒールの付いた靴は避けること。 ③ 電卓（携帯電話不可）を必ず持参すること、又製図道具等、その都度、指示のあった教材は持参すること。 ④ 授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。						
方 評 法 価	種別	割合	備 考				
	測量レポート	90%	測量結果を考察するために作成、毎回提出すること				
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する				
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	測量実習の概要			測量実習の概要を理解する。			
2回	水準測量 レベル①			水準測量を理解する。			
3回	水準測量 レベル②			水準測量機器の操作を理解する。			
4回	水準測量 レベル③			水準測量、基本測量方法を理解する。			
5回	水準測量 レベル④			水準測量、基本測量ができる。			
6回	水準測量 レベル⑤			水準測量、応用測量ができる。			
7回	角度測量 トランシット①			トランシット測量、基本測量方法を理解する。			
8回	角度測量 トランシット②			トランシット測量、基本測量ができる。			
9回	角度測量 トランシット③			トランシット測量、応用測量方法を理解する。			
10回	角度測量 トランシット④			トランシット測量、応用測量ができる。			
11回	平板測量（放射法）平板測量①			平板測量（放射法）を理解する。			
12回	平板測量（放射法）平板測量②			平板測量（放射法）、基本測量方法を理解する。			
13回	平板測量（放射法）平板測量③			平板測量（放射法）、基本測量ができる。			
14回	平板測量（放射法）平板測量④			平板測量（放射法）、応用測量方法を理解する。			
15回	平板測量（放射法）平板測量⑤			平板測量（放射法）、応用測量ができる。			